

多良木小だより

令和8年（2026年）

8月28日発行

校長 金子 圭



令和8年度全国学力・学習状況調査結果について

令和8年4月23日（木）に6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が全国一斉に行われました。国語、算数、児童質問紙について、本校が国や県平均と比較した主な結果は、次のとおりでした。

【国語】◎：成果 ▲：課題

◎本校平均正答率は、国及び県をやや下回っているが、「知識及び技能」や「短答式」は概ね良好な状況である。

▲「思考力、判断力、表現力等」に課題があり、特に、「書くこと」に大きな課題が見られる。

【算数】◎：成果 ▲：課題

▲本校平均正答率は、国及び県を8ポイント以上下回っている。領域別、観点別、問題形式別ともに課題が見られる。

▲領域別では、特に「数と計算」「変化と関係」に大きな課題が見られる。

観点別では、特に「思考・判断・表現」に大きな課題が見られる。

【児童質問紙】

「自分にはよい所がある」「将来の夢や目標を持っている」「いじめはどんな理由があってもいけないと思う(100%)」「学校図書館にどれくらい行くか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」等に対して肯定的な回答をした児童の割合が国及び県を上回っている。逆に「授業以外の普段の1日当たりの勉強時間」「1日当たりのスマホ等でのSNSや動画視聴の時間」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「算数の授業内容はよく分かるか」等に対して肯定的な回答をした児童の割合は、国及び県と比べ、課題が見られる。

今回の調査で、よい部分も見られましたが、課題も明らかになりました。

今後、国語、算数を中心に、日常の授業や家庭学習等を全学年でさらに高めていく必要があります。本校でも「多良木っ子の学び」と称して、学びに向かう児童の育成や国語・算数を中心とした読み書き計算の徹底を行っているところです。12月に行われる熊本県学力調査に向けて、課題を克服するために、学力向上、豊かな心の育成等、全職員一丸となって取り組んで参ります。

学校教育研究助成金交付について

7月13日（月）に日本教育公務員弘済会熊本支部から多良木小学校に学校教育研究助成金（7万円）の交付式がありました。学力向上をはじめ、児童の健全育成のために有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

今後の学校行事等について

現段階での行事予定をお知らせします。よろしくお願いいたします。

- ・ 8月30日（日）PTA親子ふれあい除草作業 6:30～7:30（予備9月6日）
- ・ 9月15日（火）水俣に学ぶ肥後っ子教室（5年生：水俣市へ）
- ・ 10月2日（金）・3日（土）修学旅行（長崎方面）（6年生振替休9月28日（月））
- ・ 10月 9日（金）前期通知表配付
- ・ 10月20日（火）指定休業日（あびす祭り）
- ・ 10月21日（水）第2回授業研究会（給食を食べて下校。職員は午後不在）
- ・ 10月30日（金）学習発表会
- ・ 11月11日（水）犬童球溪顕彰音楽祭（5・6年生参加予定）

たのしく らんらん きらい

～今月の多良木小スナッフ～



水俣病歴史考証館



患者の方々と



百間排水口での加藤タケ子様からの説明



7月24日（金） 職員研修（人権教育現地研修）
水俣市へ人権教育の現地研修に行きました。「水俣病歴史考証館」では、排水口前のヘドロをはじめ、漁業等で実際に使っていたもの、被害者から譲り受けたもの等が展示されていました。「実物」とおして水俣病の事実がより自分事として受け止められました。その後、水俣病の原点の地と言われる「百間排水口」を実際に見学しました。また、介護サービス施設「きぼう・未来・水俣」では、患者の方の話を直接聞くことができました。これまでの苦しみや力強く生きてこられたことを目の当たりにし、大変貴重な体験となりました。本研修で学んだことをとおして、水俣病の理解と差別の根絶に向けた取組を学校総体として全力で進めて参ります。



8月19日（水）に多良木町4小中学校の教職員が本校で研修を受けました。DeNAの末広様が講師として来校されました。正六十角形をかいたり、ドローンを飛ばしたりするなどプログラミングやICT活用等についての研修を深めることができました。